

# 災害関連文化財について

令和5年10月2日指定

野田市教育委員会 生涯学習部 生涯学習課 文化財係

## 指定文化財の概要

市内に現存する「天保の飢饉」関連資料。飢饉時の野田の様相や醤油醸造家を中心とする人々による救済等の社会貢献活動の記録は、日本の災害史の一端を明らかにするとともに野田の形成史に関わる文化財として認められるため指定対象とした。

近世の指定候補対象は、天保の飢饉における被災の様相、救済の取組、犠牲者の供養が書かれた古文書や供養塔、飢饉の教訓や功績を後世へ伝えるために建立された顕彰碑とした。

近代の指定対象は、天保の飢饉から五十回忌となる法要に関連する過去帳の写や修復された供養塔とした。

これらを1点ずつ指定していくが、飢饉関係資料としてストーリー性を有していることから、文化財群として紐付けすることができる。